

萩市民病院経営強化プラン 修正案説明資料

修正案（新）と素案（旧）の新旧対象表

修正案（新）

5. 経営強化プランの概要

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

国の「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営ガイドライン」（令和4年3月29日付け総務省自治財政局長通知）では、今後の公立病院経営強化の目指すところは、公・民の適切な役割分担の下、地域において必要な医療提供体制の確保を図り、その中で公立病院が安定した経営の下でへき地医療・不採算医療や高度・先進医療等を提供する重要な役割を継続的に担っていけるようにすることとされています。

萩市民病院は、このガイドラインのほか、山口県が定める保健医療計画や地域医療構想の趣旨を踏まえ、当院の強みである心疾患を中心とした循環器分野をはじめとする内科診療、外科診療、整形外科診療、病院として圏域唯一の小児科診療など、これまで診療実績で培った知識、経験や技術、また公立病院として有する高度医療設備など、医療資源を十分にいかし、急性期機能の高度専門医療の充実と地域で維持が危ぶまれている救急医療体制の維持強化を図ります。

また、多くの中山間地域や離島を有する萩市に不可欠なへき地医療の充実を図ると同時に、近隣の急性期医療機関との医療機能の役割分担と、地域の回復期・慢性期医療機関や介護施設等との連携を強化し、地域が抱える人口減少や超高齢化社会といった情勢の変化に対応できる医療提供体制の構築を目指します。

(削除)

素案（旧）

5. 経営強化プランの概要

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

国の「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営ガイドライン」（令和4年3月29日付け総務省自治財政局長通知）では、今後の公立病院経営強化の目指すところは、公・民の適切な役割分担の下、地域において必要な医療提供体制の確保を図り、その中で公立病院が安定した経営の下でへき地医療・不採算医療や高度・先進医療等を提供する重要な役割を継続的に担っていけるようにすることとされています。

萩市民病院は、このガイドラインのほか、山口県が定める保健医療計画や地域医療構想の趣旨を踏まえ、当院の強みである心疾患を中心とした循環器分野をはじめとする内科診療、外科診療、整形外科診療、病院として圏域唯一の小児科診療など、これまで診療実績で培った知識、経験や技術、また公立病院として有する高度医療設備など、医療資源を十分にいかし、急性期機能の高度専門医療の充実と地域で維持が危ぶまれている救急医療体制の維持強化を図ります。

また、多くの中山間地域や離島を有する萩市に不可欠なへき地医療の充実を図ると同時に、近隣の急性期医療機関との医療機能の役割分担と、地域の回復期・慢性期医療機関や介護施設等との連携を強化し、地域が抱える人口減少や超高齢化社会といった情勢の変化に対応できる医療提供体制の構築を目指します。

なお、萩市民病院の病床機能は急性期と位置付けているものの、圏域の医療環境の実情から、急性期を脱した回復期相当の患者の入院を継続せざるを得ない状況が続いていることや、地域医療構想で医療圏の回復期病床の不足が示されていることなどを踏まえ、急性期機能を主体とした上で、一部の病床を回復期病床へ転換することについて、研究、検討を進めていきます。

プラン案の
ページ

5ページ

修正案（新）	素案（旧）
<p>(2) 略</p> <p>(3) 経営形態の見直し</p> <p>萩市民病院は、圏域で唯一の公立病院として、地域の医療環境の変化に柔軟に対応し、市民の期待に応える行政サービスとして病院事業を展開することとし、これまで、地方公営企業法一部適用の経営形態で病院運営を行ってきました。</p> <p><u>本プランにおいては、現行の経営形態により計画期間中に経常黒字化する数値目標を設定しており、現行体制において、引き続き、経営改善等に努めてまいります。</u></p>	<p>(2) 略</p> <p>(3) 経営形態の見直し</p> <p>萩市民病院は、圏域で唯一の公立病院として、地域の医療環境の変化に柔軟に対応し、市民の期待に応える行政サービスとして病院事業を展開することとし、これまで、地方公営企業法一部適用の経営形態で病院運営を行ってきました。</p> <p><u>この間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時には、コロナ患者等に対応する業務に従事する医療従事者に対しての手当を県内でもいち早く条例制定したほか、不足する看護師及び薬剤師の確保を目的に独自の初任給調整手当の創設、また、不採算医療に対する市からの支援など、行政、議会と一体となり、その時々的情勢に応じて病院運営に関して必要な対応を行ってきました。</u></p> <p><u>医療を取り巻く環境は刻々と変化しており、経営の柔軟性や意思決定の迅速性は益々求められる状況にあります。</u></p> <p><u>今後は、更なる医療人材の確保と経営の効率化を図るため、地方独立行政法人化や地域医療連携推進法人制度の活用など、他の手法や経営形態等についても研究・検討を進めていきます。</u></p>

修正案（新）

6. 個別アクションプラン（既に実施中の取組も含む）

経営強化プラン項目			実施内容
大項目	中項目	小項目	
1. 役割・機能の最適化と連携の強化	(1) 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能	(ア)～(ウ)略 <u>(削除)</u>	略 <u>(削除)</u>
	(2) 略	略	略
	(3) 機能分化・連携強化	(ア) 機能の明確化と病病連携、病診連携の推進	①略 <u>(削除)</u> ②略 ③略 ④略
	(4)～(6) 略	略	略
2 略	略	略	略

素案（旧）

6. 個別アクションプラン（既に実施中の取組も含む）

経営強化プラン項目			実施内容
大項目	中項目	小項目	
1. 役割・機能の最適化と連携の強化	(1) 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能	(ア)～(ウ)略 <u>(エ) 地域医療構想を踏まえた病床機能の検討</u>	略 ①萩市民病院の病床機能は、「急性期」と位置付けているが、急性期を脱した回復期相当の患者の入院を継続せざるを得ない状況や、地域医療構想で掲げられる医療圏の回復期病床の不足を鑑み、急性期機能を主体とした上で、回復期病床（地域包括ケア病床）への一部転換について研究・検討を進める。
	(2) 略	略	略
	(3) 機能分化・連携強化	(ア) 機能の明確化と病病連携、病診連携の推進	①略 ②萩市民病院の病床機能は、「急性期」と位置付けているが、急性期を脱した回復期相当の患者の入院を継続せざるを得ない状況や、地域医療構想で掲げられる医療圏の回復期病床の不足を鑑み、急性期機能を主体とした上で、回復期病床（地域包括ケア病床）への一部転換について研究・検討を進める。（再掲） ③略 ④略 ⑤略
	(4)～(6) 略	略	略
2 略	略	略	略

8ページ

9ページ

修正案（新）

素案（旧）

（続）

経営強化プラン項目			実施内容
大項目	中項目	小項目	
3. 経営形態の見直し	(1) 経営形態の見直しに関する取組	(ア) 経営形態の見直しの検討	① <u>本プランにおいては、現行の経営形態により計画期間中に経常黒字化する数値目標を設定しており、現行体制において、引き続き経営改善等に努める。</u>
以下略			

（続）

経営強化プラン項目			実施内容
大項目	中項目	小項目	
3. 経営形態の見直し	(1) 経営形態の見直しに関する取組	(ア) 経営形態の見直しの検討	① <u>より効果的な病院運営を実現するため、地方独立行政法人化や地域医療連携推進法人制度の活用など、他の手法や経営形態等についても研究・検討を行う。</u>
以下略			